学校番号	３０２６

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共（IB）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校　新公共』　（第一学習社）						
副教材等	『ライブ！2025 公共、現代社会を考える』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
・知識に関する問いを考察し、知るプロセスを探究する。「知識の領域」を比較してその間のつながりを見つけることに重点を置き、生徒が自分自身と他者のものの見方をより意識することを目指す。

2　学習の到達目標

・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、
　多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
・この世界を効果的な方法で探り、その意味を理解する力を生徒にもたらすとともに、新奇で複雑な状況に遭遇したときに対応できるだけの備えを身につける。
・自分自身のものの見方についての認識を高め、自分の信念や前提を批判的に考察する。
・複数のものの見方に触れ、心を開く姿勢を養い、多様な文化の理解を得られるようにする。
・知識の生産、獲得、応用、伝達に関連する価値観、責任、倫理的な配慮の重要性について考える。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち	第１章 公共的な空間をつくる私たち 第２章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	a：自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b：社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している c：公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど
	公共的な空間における基本的原理	①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理	a：人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 b：公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：公共的な空間における基本的原理について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど

2学期	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第１章 法的な主体となる私たち 主題１ 法や規範の意義と役割 主題２ 契約と消費者の権利 ・責任	a：現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど
		主題３　司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加	a：現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど
3学期	政治的な主体となるわたしたち	主題４ 政治参加と公正な世論形成	a：現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b：中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している c：政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど
		主題５ 国際社会と国家主権 題６ 日本の安全保障と防衛 主題７ 国際社会の変化と日本の役割	a：国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている c：国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど
	経済の主体となるわた	主題８ 雇用と労働問題 主題９ 社会の変化と職業観	a：雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：法分野の基本的人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーションなど	エッセイ 課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど

	したち	主題 10 市場経済の機能と限界 主題 11 金融のはたらき 主題 12 財政の役割と社会保障 主題 13 経済のグローバル化	a：現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：市場経済の機能について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど
				エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーションなど	エッセイ課題やプレゼンテーション、ディスカッションなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度